



2022年

夏休み 小学生福祉体験講座を開催しました



高齢者疑似体験

どんなところが不自由で大変なのか、80歳になって体験しました。自分たちにできる事を考えてみました。



特殊なめがねで「見えにくさ」の体験をしました。文字を読んだり、書いたりすることも大変です。



「聞こえにくさ」の体験をしました。話しをしているのはわかるけれど、言葉が聞き取れません。聞き取れないと、不安になりますね。



お買い物体験です。お財布からお金を取り出すことも大変です。自動販売機には、高齢者や車いすの人が利用しやすい工夫がたくさんあることに気づきました。



車いす体験

介助する人と介助される人、様々な立場から、安全な使い方を学びました。



車いすの開き方・閉じ方を体験しました。点検方法や、乗り降りの時の注意点を学びました。正しく安全に使う事が大切です。



親子や兄弟で介助体験をしました。点字ブロックや段差の上を通りました。声掛けの大切さがよく分かりました。



車いすで生活する人の気持ちになって自走体験をしました。曲がり方にもコツが必要です。



視覚障がい者への援助体験

見えにくさは人によって様々であることを理解し、白杖体験をしました。



社会福祉総合センター内にある、案内板は点字でも表示しています。手すりやトイレにある工夫を探検しました。



信号機には見えにくい方のための工夫があります。実際の信号機で確認しました。「カッコー」と「ピヨピヨ」の音で方向が分かりますね。



点字ブロックを手がかりに、特殊なめがねを着けた状態で白杖体験をしました。点字ブロックの大切さがわかりました。